

予算の主な使い道

を第4次総合計画（令和3年～令和7年における市の将来像）の

5つの体系により、新規事業を中心に紹介します。

新 = 新規事業

協働のまち

庁舎建設事業 5億43万1千円

住民サービス提供の場であり、防災拠点でもある庁舎の建設を行います。



新庁舎イメージ

新 地方税共通納税システム運用拡大事業 2,536万8千円

eTAX（地方税ポータルシステム）を活用し、固定資産税・都市計画税・軽自動車税（種別割）の納入に対応します。

新 地域の絆応援助成金（奨学金返還支援事業） 50万円

市内に住民票をお持ちで、奨学金を返済されている人のうち一定の条件を満たした人に対し、返済額の一部について補助を行います。

産業・環境

郡山城跡公園整備事業 3億4,460万円

県立郡山高校城内学舎跡地について、現城趾公園（西公園）と合わせて歴史公園として整備します。



郡山城跡公園整備イメージ

新 電子版プレミアム付商品券発行事業 3億2,000万円

プレミアム付デジタル商品券を発行し、市民に向けた消費喚起と市内事業者支援を行います。

子育て・教育

新 中学校トイレ全面改修事業 1,846万9千円

小学校に引き続き全中学校のトイレの全面改修を順次行い、トイレの洋式化及び衛生面の向上を図ります。

学科指導教室「ASU」移転事業 8,765万9千円

旧法務局の建物を改修し、現在の城址会館より学科指導教室の移転を行います。



ICT 活用の様子

ICT支援員活用事業 1,972万6千円

GIGAスクール構想の実現に向け、ICTの活用を推進するため、ICT支援員を配置し、学校への支援体制を整えます。